

家庭学習の手引き

1 家庭学習とは？

本校では「宿題」＋「音読（読書）」＋「自主学习」を家庭学習とします。

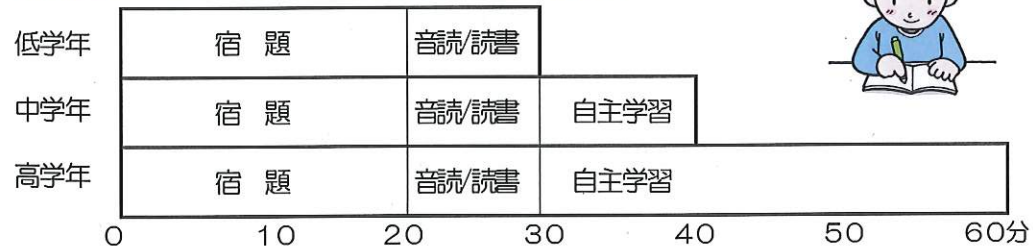
※低学年は、「示された課題にしっかり取り組む」ことをねらいとします。

※中・高学年は、「示された課題以外に、自分に必要な課題を考え取り組む」ことをねらいとし、自主学习にも取り組みます。

学力向上は、家庭学習の習慣化から

取組目標時間 低学年：30分間以上、中学年：40分間以上、高学年：60分間以上 平成29年度（3月）は、91.0%の児童が目標時間を達成した取組をしました。

家庭学習取組時間の長一小モデル



※学習の3つのポイント

- ・テレビを消して、音楽をかけずに集中して取り組む。
- ・よい姿勢で勉強する。
- ・机の上をきれいにして行う。

2 家庭学習の参考例 （各学年共通）

国語 ・漢字練習 ・意味調べ ・視写 ・日記
 ・音読 ・テストでまちがえた漢字を正しく覚える
 ・語句や漢字の意味や使い方を調べ

算数 ・計算練習 ・百マス計算
 ・テストでまちがえた問題をもう一度ノートに写して解く
 ・文章問題を作る

社会・理科・総合
 ・学校での学習に関連があることから本やインターネットなどで調べまとめる

その他
 ・国語辞典・漢和辞典その他の事典や図鑑類を身近に置いて調べる。
 ・日本地図・世界地図・地球儀などを身近に置いて調べる。
 ・新聞を読んだり、ニュース番組を見たりして、出来事をまとめ、感想を記録する。また、家族で話し合う。

3 各学年で身に付けたい力

習慣づけの1年生

- ①ひらがな・かたかなの清音が読めて書ける。
- ②助詞（て・に・を・は）を適切に使い分ける。
- ③たし算・ひき算ができる。
- ④80字の配当漢字のすべてが読め、8割の漢字が書ける。
- ⑤鉛筆を正しく持って字が書ける。

逃げない子にする2年生

- ①160字の配当漢字のすべてが読め、8割の漢字が書ける。
- ②順序よくお話をすることができる。
- ③九九がすらすら言える。
- ④筆算をていねいに書きながら計算できる。
- ⑤決められた長さの直線を正しく引ける。

分岐点を乗り越える3年生

- ①200字の配当漢字のすべてが読め、8割の漢字が書ける。
- ②短い詩が暗唱できる。
- ③簡単なことわざを知っている。
- ④主語と述語の意味がわかる。
- ⑤ローマ字を適切に読み書きできる。
- ⑥わり算ができる。
- ⑦コンパスを使って簡単な図形がかける。
- ⑧はかりを使って重さが測定できる。

「9歳の壁」を破る4年生

- ①202字の配当漢字のすべてが読め、8割の漢字が書ける。
- ②文と文のつながりを考えながら、指示語や接続語を使う。
- ③物語文では、会話を大切に、気持ちを込めて読める。
- ④国語辞典・漢和辞典を正しく使える。
- ⑤わり算の筆算ができる。
- ⑥分母が同じ分数のたし算・ひき算ができる。
- ⑦倍を使った文章題が正しく解ける。
- ⑧47都道府県の位置がわかり、正しく言える。
- ⑨地図を使って見知らぬ場所や地名が調べられる。

ぐんと伸びる5年生

- ①193字の配当漢字のすべてが読め、8割の漢字が書ける。
- ②今まで習った漢字を使った熟語の8割が書ける。
- ③小数のかけ算・わり算ができる。
- ④分数のたし算・ひき算ができる。
- ⑤三角形・平行四辺形の面積を求めることができる。
- ⑥直方体の体積を求めることができる。
- ⑦割合・百分率を使った問題が解ける。
- ⑧自分で文章問題を作ることができる。
- ⑨パソコンでローマ字入力ができる。



中学校生活に希望が持てる6年生

- ① 小学校で習得すべき漢字のすべてが読め、8割の漢字が書ける。（6年生は191字）
- ② 小学校で習った漢字を使った熟語の8割を正しく書ける。
- ③ 歴史に残る古文のいくつかにふれ、暗唱できる。
- ④ 分数のかけ算・わり算ができる。
- ⑤ 速さ（単位時間に進む道のり）を求めることができる。
- ⑥ 円の面積を求めることができる。
- ⑦ 角柱の体積を求めることができる。
- ⑧ 歴史上の事件や人物について、だいたい説明できる。
- ⑨ 世界の主な国々の位置を正しく示せる。
- ⑩ 理科の実験道具の正しい扱い方を知っている。
- ⑪ パソコンで速くローマ字入力ができる。

中学校での
学習習慣の確立につながります。